

桶川市「住民基本台帳人口」

数字でみる桶川

市

50年の変化

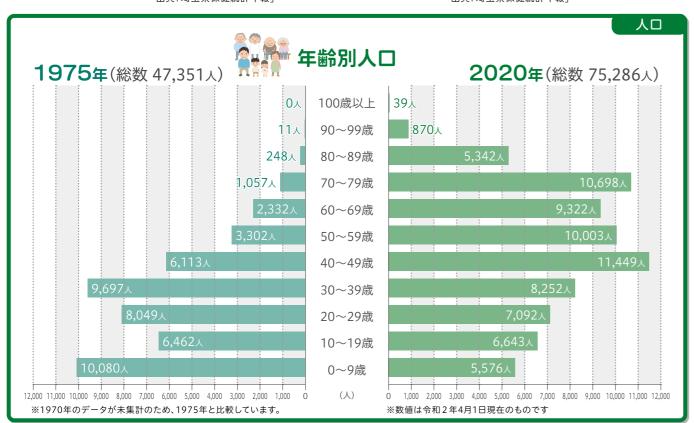




1日あたりの死亡数 2018年 2.0人 1970年 0.5人

出典「埼玉県保健統計年報」

出典「埼玉県保健統計年報」



桶川市「住民基本台帳人口」

### キズナを育む連携協定

### **Cooperation agreement**

企業や他自治体と連携を結ぶことで、スムーズに問題が解決したり、新しい取り組み やアイデアが生まれたりすることはよくあります。桶川市は多くの企業・自治体と連 携協定を結び、防災を含め、さまざまな事態に対応できるまちづくりを進めています。

### 友好都市

Friendship city

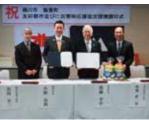
### 山形県飯豊町

平成29年2月25日、友好都市宣言

飯豊町は飯豊連峰から流れる清流白川と緑豊かな山林、田 園散居集落など美しい日本の原風景が残る人口約7,000人、面 積約330kmの山形県南西部に位置するまちです。市内の中津 川地区は県内でも有数の豪雪地帯として知られ、平年2mを超 える雪が積もります。

毎年2月の第4土曜日には「中津川雪まつり」が行われます。

米沢牛の育成や米の生産な どが盛んで、特徴的なもの として「どぶろく」の製造も 行っています。また、町内4 か所で温泉が湧き、それぞ れ異なる泉質を楽しむこと もできます。





中津川雪まつり



山形県飯豊町の風景

### 防災支援協定

Disaster prevention support agreement local government

桶川市は、地震等大規模災害発生に備えて、市民への迅速な支援推進を 目的とし、各種企業および、行政機関などと災害時支援協定を締結し、企 業、行政機関などに水や食料などの物資の供給や搬送の協力等をお願して います。

### 県外の相互応援協定

- **1**群馬県安中市 (平成9年4月28日)
- (平成9年7月1日)
- 3東京都武蔵村山市(平成12年11月3日)
- 4 茨城県那珂市 (平成24年7月17日) (平成26年12月17日)
- (平成29年2月25日)

### 災害時の避難場所相互利用に関する協定

災害時の情報交換に関する協定

県内の相互応援協定

国土交通省関東地方整備局(平成24年2月16日)

県内の全ての市町村

防災協定をはじめ、桶川市ではさまざまな分野で協定を締結しています

桶川市は、企業・団体との防災協定を40協定、健康に関する協定を14協定、河川に関する協定を7協定、防犯に関する協定を4協定、空 き家対策に関する協定を4協定、市民の生活や福祉の向上、人材育成などに関する協定を2協定、高齢者等に関する協定を2協定、体育 スポーツに関する協定を2協定等の協定を締結しています。(令和2年9月現在)

埼玉県

### 生活インフラ



### 公共下水道普及率

2019年 81% 1970年 0%



生活インフラ



産業



出典「埼玉県保健統計年報」

人口

### 生活インフラ



ごみ排出量

2019年 13,523t 1970年 6,147t

桶川市



### 年間使用水量

2019年 7,406,353㎡ 1970 1,624,644 m

桶川北本水道企業団

教育·文化



工場数

2019年 74事業所 1970年 187事業所



### 外国人登録者数

2019年 742人 1970年 44人

桶川市

産業

産業

### 消防·犯罪



火災発生件数

2019年 16件 1970年 17件

埼玉県中央広域消防本部



小·中学校児童生徒数

2019年 5.467人 1970年 5,130人

桶川市教育委員会



桶川駅乗車数(1日平均)

2019年 26,296人 1970年 16,406人

出典「埼玉県統計年鑑」、東日本旅客鉄道㈱



### 自動車登録台数

2019年 28,550台 1970年 4,681台

出典「市町村別車両数統計」(関東陸運局)



Column

桶川市の資料

### 統計調査のはなし

桶川市では、国や県から委託されたさまざまな統計調査を実施 しています。統計調査は、『国勢調査』や『経済センサス』など、国や 県が所管し統計法に基づいて実施されます。調査には1~5年に 一度の周期で実施されるものが多く、世帯を対象とするものと、 事業所を対象とするものがあります。

得られた数値は、行政機関で各種行政活動の基礎 データとして利用されています。

この各種統計調査の調査対象を訪問して、調査票を配 布・記入依頼・回収などを行う人を統計調査員といい、 統計調査の期間中のみ任命される非常勤の公務員です。



消防·犯罪 交通事故件数 2019年 224件 1970年 265件

埼玉県警察



農家数

2015年 254農家 1970年 1,178農家

出典「2015年農林業センサス」(農林水産省)



商店数

2016年 449商店

1970年 636商店

出典「平成28年経済センサス-活動調査」(総務省・経済産業省)



# Okegawa city overview

## 桶川の地名の由来

まったという説です。 畑という意味で、その方向である沖側がな 「沖側(おきがわ)」説で、オキは広々とした田 桶川の地名の由来でもっとも有力な説は

ることから、 なお、そのほかにも芝川と鴨川の水源があ 川が起こる意味で「起き川」説が

菅谷村」からです 「オケガワ」の地名が初めて文献に現れる



面積



東西約8km 南北約4km

### 移り変わり

of Okegawa

圏近郊の住宅都市として発展してきました。 より埼玉県下31番目の市として誕生し、 昭和45(1970)年11月3日の市制施行に かつては江戸から10里(約40㎞)、近隣から

として栄えました。 が自然に集まってくるため、中山道の宿場町 現在でも、中山道沿いには宿場町当時のお

どの集散地として栄えました。 が移り住み豊かな暮らしが息づいています。 す。また、明治以降は、麦、さつまいも、紅花な もかげが残り、当時の繁栄を今に伝えていま そんなおもかげを残しながらも、新しい人々

地勢

尾市および伊奈町に、北は北本市および鴻巣 蓮田市に、西は荒川を境に川島町に、 市域の東は元荒川をへだて、久喜市および 南は上

むね平坦地で海抜12~25mです。市の中央部 に縦断し、県道12号川越栗橋線が東西に横断 しています。 市内には部分的に台地もありますが、おお R高崎線と旧中山道、国道17号線が南北

首都近郊都市としての要素を備えています。 ます。さらに、市の西部を上尾道路が縦断 道)が横断し、2つのインターチェンジがあり また、北部を首都圏中央連絡自動車道(圏央

ø

市章

City emble

# 昭和45(1970)年11月3日制定

の向上、飛躍を象徴した希望の姿を表した ものです。 わせて、市民の連帯、協力を表 桶川市の市章は、頭文字のオケを組み合 、市の将来

・昭和43(19 「町章」として制定され、昭和45年11月3日 章となりました。 の市制施行により市 68) 年11月1日に桶川町の

に使用する旗を始 市章は市の各種行事 われています。 刊行物などに使



## 市の木・花・市民の花

City tree, flo



の農産物の集散地という地の利を得て、

# 昭和51(1976)年10月1日制定



## 市民の歌

オケちゃ

桶川市のマスコットキャラクター

宣言

性別:ひみつ

生年月日:平成2(2010)年11月3日

「オケちゃん」は、平成22年11月3日に誕生

桶川市人権尊重都市宣言

桶川市スポーツ都市宣言

【平成3(1991)年6月1日】

桶川市平和都市宣言

【昭和60(1985)年1月1日】

ベ

### にのはな」 作詞 秋山典昭(桶川市下日出谷) 作曲 志津(デボラ)

おおきな橋 こえてゆこう

【平成8(1996)年6月5日】桶川市環境自治体宣言 【平成6(1994)年12月10日】 かわ ベ り 0き L١ ろいは な

大きな空

花

あさのひざし

浴びて

たっ

た

青い世界

広がる 小さい

あなたつつむ

べにの

かほ

ŋ

しい 風 およぐおよぐ

べすでし かほり 流れて <

大きな空 小あさのひざし 青い世界 広がる 小さい花

L

浴びて

た

つ

た

た

か

わ

い

ſ١ はな

【平成10(1998)年12月18日】桶川市男女共同参画都市宣言

や旅、

イベントが大好

を履いています。散歩 た着物をまとい、草履

桶川市ゴミ10ヵ条宣言

【平成8(1996)年6月5日】

闘しています。

きで、桶川のPRに奮

桶川宿」をイメ

リジし

の名で有名だった「べに花」を頭に、「中山道 し、市民登録されました。江戸末期、桶川臙脂

あ なたつつむ ^″ にの か ほ ŋ

ベ

に

の か

ほり

街

をこえて

光の粉が 舞い あかくなって いつかみて

あがり 母になる

べにのかほり 光の粉が 舞い あかくなって いつかみてた あがり か 街をこえて 母になる ゎ ĺ١ い は な

> かわべりの おおきな橋

こえてゆこう

10

の

かほり

流れてく

ず

い

風

およぐおよぐ きいろいはな

中山道の宿場町として、永い歴史と文化に培われてきた自然豊かな桶川市、わたくしたちは、

ここに住むことをほこりとし、より明るい豊かな郷土を築くため、この憲章を定めます。

わたくしたちは、おもいやりと助け合いの心を大切にし、明るい桶川を築きます。

わたくしたちは、からだを鍛え教養を高め文化を大切にし、うるおいのある桶川を築きます。

たちは、平和を愛し勤労を尊び家庭を大切にし、

、豊かな桶川を築きます。

昭和55(1980)年11月1日制定

市民憲章

べ す に ず し かわ おおきな橋 しい風 ベ りの およぐおよぐ こえてゆこう きいろいは な

(間奏)

わたくしたちは、緑を守り育て自然を大切にし、美しい桶川を築きます

わたくしたちは、

約束を守り責任をはたし礼儀を大切にし、心のふれ合う桶川を築きます。

かほり 流れてく

べにの

か

ほ

ŋ

流れて

ベ

に

の

か

ほ

り

流れて

<

